京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十六字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太
印刷人 松久神一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

寄書

●電鐵事業 公園經營論（三）

第二、公園と都市（下）

岡崎遠光

濱寺遊園地は青松波に映ずる里餘の地遠く紀淡海峽を抱けり其の海水浴場は良好の成績を擧げつゝあり香爐園は濱寺遊園地に對抗して遊覽者を吸收し一時非常の繁盛を極めたりしも箕面動物園及香爐園の開設以來打撃を蒙り今や多少昔日と其の觀を異にす須磨寺遊園地は他に比して稍々遜色ありと雖も尚運動場と動物園との設備あり而して地は瀬戸內海の優觀を占め青松白砂の間雲煙渺茫の影は正に都人士の一遊に値すべし箕面動物園及香里園は最近の設備に係り規模の廣大、設備の完全、他を凌ぐ事遠く共に千數萬圓を投じたるものにして四十三年十二月中に於ける入園者の數を聞くに箕面動物園は[illegible]萬五千人其の最も多き日は一萬一千人香里園は六十三萬人其の最も多き日は五萬三千人ありたりと云ふ而して箕面動物園は入園料を徴するも其の他は皆無料なり

南滿洲鐵道會社の經營に係る大連電氣鐵道も附屬の遊園地を有す其の設備は勝れて新式に東洋風を加味したるものにして裝飾は電氣を應用し園內には演藝場、運動場、花園、茶店、休憩所等一として備はらざるなし土地高燥にして眺望亦絶佳園の面積約二萬坪投下資金約十萬圓而して入園者は日々二千人乃至三千人日曜、祭日等には之に倍蓰すと云ふ

電鐵は其の本質上重要なる交通機關たるを以て都門幾百十萬の市民の娯樂、慰安、健康、散策等の諸點に關し深き注意を拂はざるべからざるや論無し、都人士をして遊覽の意を起さしめ散策の心を動かさしむるもの電鐵の輕快なる輸送力に由るもの多しとなす或は日く歐米從來の經驗に由れば電鐵が直接公園を經營するが如きは多くは收支相償はず結局失敗に歸せんと否必ずしも然らず其の都市の狀態、住民の好尚、公園の經營又は誘引の方便等其の宜を得ば蓋し十分に成功すべし唯々玆に考慮を費すべきは公園又は遊樂地へ遊覽客を送迎するに付ては季節に依りて煩閑ある事是なりとす夫の春秋遊樂の盛時に於ては一時に輸送の濃度を倍加し到底單線にては其の需要に應ずる能はず複線を要するが如き事ありと雖も一朝其時期を過ぐれば數ヶ月間は頗る閑散となり殆ど運轉を休止するの姿を呈する事あり又其の盛時に於ても時に依りて輸送の濃度を異にするの不便あり即ち或期間に於ては軌道車輛を常に間斷なく使用するの必要なきを以て爲に資金運轉を休止せしむるの結果を生ず是れ電鐵會社に取りて最も困難を感ずる點なり

元來電鐵事業なるものは其の總收入こそ何れの會社に於ても年々遞增するが如しと雖も而も其の純益即ち配當率に至りては容易に遞增するものにあらず却て遞減せんとする傾向あり是れ建設費益々巨額に上り營業費益々其の數を增し而して諸給與及び諸經費は日に月に多くなるの傾向あるを以てなり世界各會社を通じて確實に一割五分以上の配當を持續するものは一會社だも之れ無し他の生產事業に比して實業制惡き經營なりと謂ふべし試に看よ英國に於ける私立街鐵會社の各社平均配當率は年五分未滿に止れるにあらずや金利最低の英國なればこそ或は滿足もすべけれ我が國に在りては年八分以上にあらざれば好配當を以て目すべからざるなり

如上の現狀なるを以て米國電鐵會社の公園經營は動もすれば悲觀を以て迎へられ公園は公共團体に於て宜しく自ら經營すべし電鐵會社は須らく割引を以て遊覽者を送迎すべしとの論株主間に唱道せられたる事あり米國に於てすら斯の如し朝鮮の如き殖民地に於て電鐵會社が公園又は遊覽地を經營し公衆の遊樂及び利便に供せんとするに方りては官公衙は幾分之を補助をなすが至當なりと信ず即ち土地樹木用水等の下附は差當り緊要の事たり

。。。。。。。

●溫突語迷

樺太生

◎法令又は政策は猶ほ衣服の如し、三ツ身裁は到底成人に被せる可からざると共に胴太き親爺の借着も見苦しきものなり、然れども明治政府は國民成長の程度を知らざるが故に或る時は本身裁を着せ或る時は雛人形の其の如きを以て强んとする事あり、前の西園寺內閣は全國に於ける無財產なる末社又は末寺數千基を破却し、之れを他の寺社に合祀せしめんと企圖したりき、農民迷信の權化なる猿田彦の八阪社も觀世音も四十八ヶ所も、蛇の祠、牛の森と云ふ如きものに至るまでも一いち警官立合にて其移轉を强迫したり、之れ胴太き本身裁を着せんと試みたる也。

◎而して桂內閣の成立を見るや、そんな問題は全然沙汰止となり、之れに代ふるに二宮道德の鼓吹宣傳となり『汝等貪ずして働け』と云ふ教訓は全國到る所に驚く可き熱心を以て說教せられたりき、而も其效果に至つては多額の傳道費用を徒費して國民を營養不良の青瓢簞に作り上げたるの外、遂に何物も得る能はざりし也、次に危險思想の豫防名義として平田內相より編み出されたるものは、地方に於ける春秋の祭典を盛大にし以て敬神の念を涵養せしむると云ふにありき、危險思想對お神輿の角力が果して何れが勝利を得べきかは後日に待つべきの問題なるも、要するに之等は國民を餘りに小供扱ひにし三ツ身の着物を被せて見んとする愚劣なる政策と云はざる可からず。

◎然らば現內閣の三教合同策は奈何、こは衣服にはあらず、大風呂敷也、國民の頭上よりコポすと掩はんとする也蓋し糸目も既に朽ち果てたるボロと襤褸とが尙ほ能く一枚の大風呂敷と纏り得べきや否や、假りに纏りたりとせよ而して我々國民の頭上より程よく蔽はれたりとするも、而も开が恰も火消壺に於ける蓋の如くに、國民の不安と怨嗟の聲を實際に消し得べき程に有效にして且つ重寶なるものなりや否や。

外事一束

▲露淸● 談判は三十日公式に中止され駐日大使マレウヰッチ氏東京歸任に決
▲親密● の情極端に顯著の露英交驩も獨逸新聞の敵對的態度に稍々興を減す
▲英國● 海軍の名將海軍大將サーグリー▲ブル、ヘイ氏は長逝したりと云ふ
▲ル氏● 市俄古に共和黨次期大統領候補者に立つことを承諾の旨聲明したり

▲士兵● ウースプブ附近の寺院へ侵入し僧侶九名を斬首し教會の神聖を汚す
▲罷業● 騷動の爲め葡都に戒嚴令布かれ軍隊罷業者を一網に捕縛の方針に出づ
▲英帝● ファイフ公薨去の爲め歡迎及聖ボール寺院式典を質素にすと
▲移民● 禁止案に關し米國上院移民委員會は日本に反感を與ふるを避けん爲め
▲法案● 中なり日本人を除外する事に變し日本の移民制度態度に滿足すと述

梁川庄八

第九十四回

小金井蘆洲演

役『エー是れは手前の方では表向きに致しませんのですから、何卒お立退を願います』庄『イヤ然うは行かぬ假令足にもせよ人二人往來に橫死を遂げて居るからは、宿役人若くは問屋場役人たる者は、檢視を願下さなければなるまい、既に檢視の役人が下りた以上は變死の次第を吟味致すであろう、左すれば變死の次第を有体に云はねばなるまい、今乃公が此場を出立致した所が代官が直ぐ後から追手の人數を向けて乃公を引戾すはこりや役目の權と申すものだ、引戾されて再び此處へ來なければならぬと云ふことを知りつゝ出立する馬鹿はないぞ』役『仰は御尤にござりますが御檢視を願いませんで內分に死骸を取片付けます』庄『內分に片付けると申した所が假にも人足二人、犬や猫とは違ふ何時しか露顯致すに違ひない』役『エーそりや人別も何もない奴で年が年中五街道を雲を霞と飛んで歩く雲助、行倒れ同樣に內分で葬つて了ひますから別に檢視も何も要りませぬ』庄『フーム然うか彼等兩人は人別も何もないものか』役『左樣でございます』庄『無宿者を問屋場人足に取立て、相濟むか、貴き御方樣の荷物或は御用の荷物をば運ばするに無宿者に扱はしむるとはいよ〳〵以て不屆千萬聞棄にはならぬ、併せて此事をも上へ申立つれば其方共の首はあるまい、聞けば聞くほど不都合千萬最早勘辨は相成らん』と威猛高になつて威張立つれば問屋場役人共すく〳〵弱り果て再三再四押問答の末 庄『只內分とばかりでは其趣意が立たぬではないか』役『其趣意と申すは……』庄『然ればさ地獄の沙汰も金次第と云ふことを知らんか』役『オヤ〳〵こりやアベコベに此方が打取られるやうになつた』と頻に呟いて居ります 役『エー御浪人樣何程差上げて宜しうございませう』庄『さよう人足共は十人ぢやの、然らば一人十兩づゝ、百兩差出せ、左すれば勘辨して遣はす』役『百兩は些とお高い責めて十兩だけ、お路用の中に御差加へを願います』庄『馬鹿を云へ斯樣な一大事、其方共の命に係はる事を十兩で內濟とは不埒千萬、此方の請求は現金掛直なし外を當つて見ろ』サア問屋場役人は庄八の爲にギュー〳〵油を絞られたけれども、大体自分等がよくないのですから平謝りに詫をして居る處で資の大勢の見物を追拂つて這入つて來た一人、荷宰領体の男、手に御用荷物投帳と云ふ帳面を吊提げて劇しく 宰『オイ〳〵問屋場詰合の者、御荷物が直ぐ來るから人足の手當をしての、御荷物は大地へ降しては勿体ないから一同手を擧げて待て居てくれ、サア帳面を受取れ』とポーンと帳面を投込んだ 問屋場役人は 役『ヘヱ是は御宰領樣でございますか、只今私共は仙臺のお方樣からお談じを受けて居りますので一寸動けませんのですが、少々御待ちを願ます』宰『ナニ然う云ふ譯には參らんわい、御領主樣御用荷物だ大地へ降しては勿体ない、繼立が遲くなる、早く致さんか、仙臺ボーなんぞは構わんが早く〳〵』と急き立てる役人共は動くには動かれずモヂ〳〵して居ると梁川は 庄『コレ〳〵其方は何者だ……荷物繼立の催促を致す者だな、些し待て……仙台ボーなんぞは構わんとは何んだ、拙者仙臺の者で當問屋場詰合の者に不都合があるによつて談じて居る所である、仙臺ボーとは何事だ』宰『ウヘー……イヱ仙臺ボーとは申ません、仙臺の方と申ましたので、仙臺の方仙臺方と申ました譯で』庄『默れ其方却々迺斛は旨いな……御領主御用荷物だから大地へは降せぬとは何事だ、領主の荷物なれば一番跡廻しに致して宜い者だ、先づ庶民の荷物の滯らぬやう先へ繼立て、夫から後で繼立て能い者だぞ、第一大地へ降せぬ程の大切の荷物の宰領をする其方が今此處へ投込んだ、此帳面は何んだ、後方には瀧川上總介と署名してあるではないか瀧川と云へば尾張家の老職ではないか、其名の署してある者を夫へ投り付けて人足共の土足に掛らんとも限らん、左樣したら何とする役理濵め、所謂虎の威を假る狐で、貴樣達のやうな奴があるから旅人や宿內の者が難義を致すの領は初の勢は何處へやら窘め付けられる 宰『誠に恐失言の段御容赦を願ます』ました



京城新報

清帝の退位と支那の將來

混沌、轉輾、昨是今非恰も走馬燈を見るが如き觀ありし支那の時局も、過般來既に官革兩者の交戰圏内を通り越して政治的交渉となりつゝありし、一面には革命軍の北伐前進、山東省登州方面の小戰鬪等吾人をして尚支那時局の將來に就て苦慮するもの少なからざりしが、愈々本日の北京特電は皇帝退位に決せるを報し、皇帝退位の上諭は五日を以て公表せらるべしと、事の茲に至りしもの畢竟北京朝廷にても大勢の趨く所最早如何ともすべからざるを覺せしと、且つ權謀術數に富める袁世凱氏が此場合清朝を廢するの外に適當の策なきを悟了せしとに因らずむばあらず。而かも今回清帝をして其退位を餘儀なくせしめたるは即ち革命軍の一大成功にして又共和主義の一大勝利なるを認むることを得べし。吾人想ふに今後は必らず革命黨の理想の實現せらるゝの近きにあるを信ず、然れども此理想たる共和政體の實現せられたる曉に於て、支那が立憲君主制たるに比して一層良好なる成績を擧げ得るや、將又富國強兵となるや否やは、素より玆に論すべき限りにあらざるなり、抑も政治の改善は政體よりも寧ろ國民の活動力の多寡によつて期待せらるべきものなればなり。今後支那の政治が共和政體となれば先づ大統領選擧あり、自巳中心主義に慣れたる支那人が、一躍政治上最も公德を要する共和主義に於て果して如何なる態度を示すべきや、紛糾の狀甚だしきものあるべし、殊に權力競爭の結果として紛亂錯雜更に大なるべきは今より豫想するに難からざるなり、然れども更に一歩を進めて將來如何と察するに、其所謂紛擾なるものは、支那民族の政治思想を養成し、政治能力を訓練する所以にして、彼等は恰かも佛國革命後數十年間、共和、王政、帝政を繰返して終に今日あるを致せしが如く、政治上の實驗を積み重ねて最も進歩せる政治思想を持するに至る過程と見做せば一時的紛亂の如き何等懸念するに足らざるに非ずや、吾人は寧ろ今日支那國民多數の熱望せる政體の實現せられんとするを喜ぶと共に一時も早く彼等の政治的訓練を經、支那國土の保全せられ、彼民族の福利の增進せんことを希望せざるを得ざる也若それ彼國民多數の希望せる政體の實現せられし後其弊害に堪へざるものあらば再三改革して可なり、試みに世界の政治史を繙けよ我帝國を除くの外は、何れの國と雖も種々の變遷を經て今日を致せるものなるを知るべし、人類進歩の大局より觀じ來れば政體變更の如きは些々たる問題に過ぎず、此際我帝國民は、支那民族多數の熱望成就せしを祝福し、永久に善隣の交誼を厚ふし、相提携して東洋の進運を圖らざる可からず、殊に今後の日本支那間の貿易關係をして一層密邇せしめ以て支那民族の發展を期するに努むべき也。

北京特電

●清朝愈々亡滅● 四日午前六時皇太后は清朝の古式に準じ先帝及び皇祖の廟を拜し退位の已むなきを奉告し同九時幼帝を抱いて陽震殿に赴かれ惇親王を召され皇帝退位の上諭を下されたり

▲退位上諭發表 袁世凱は五日皇帝退位の上諭を發表し同時に列國に通牒すべし

▲退位發表後の北京 上諭發表と共に北京の上下は今更の如く騷擾を極め宗社黨の全部は退位の上諭を以て袁世凱の脅迫に依るものとなし形勢は退位を餘儀なくする程切迫せるに非ずとて憤慨其極に達し爆發の兆あり袁世凱邸の警戒最も嚴密を極む

▲政府設置地は未定也 皇帝退位の上諭は發表せられんとするも臨時政府の設立地は尚決せず

▲皇帝退讓條件 政体問題に關する條件十三ケ條の草案は一二字句の修正を爲したる上三日之を南方政府に送り同政府にて多少の修正を加へ玆に兩者の意見一致したるを以て四日直ちに皇位退讓の事に決し宗廟に奉告されたる次第なり

東京電報

▲墨國も革命亂 墨西哥軍隊革命亂を起し形勢頗る重大なり大統領は統治權を失なへる旨公報ありたり

▲總領事館警戒 奉天の形勢不穩なるを以て奉天帝國總領事館及び橫濱正金銀行支店警戒の爲め在鐵嶺守備隊より歩兵一個中隊を派遣したり

▲同志會の活動 南京政府承認同志會の實行委員二十名は四日西園寺首相齋藤海相山縣公桂公等を訪問して速かに南京共和政府を承認せよとの同會の決議に就て縷陳する

所ありたり

▲英國潜航艇沈沒 二日夕刻英國潜航艇第三號沈沒し乘組員全部死したり我海軍省にては直ちに弔電を發したり

▲海軍秘密會 四日衆議院豫算第四分科會にては秘密會議を開き齋藤海相海軍充實案に付て詳細なる説明をなせり

雜報

●下半期産金額 昨年四十四年下半期に於ける朝鮮全道の産金額は八百四貫三百七十六匁九分六厘四百三萬千八百八十四圓八十錢にして之を前年の同期に比すれば六貫二百六十五匁三萬千三百廿八圓五十錢の減額なるが這は七、八、九の三ケ月間に於て霖雨多かりしため採取意の如くならざりし結果にて其後天候恢復と共に其産額も漸次增加せり殊に煉金法の改良は益々其前途に希望を多からしめ即ち從來は混水法によりて製煉し其枌得に或方法を加へて再び採金するに至りしを以て本事業は益々發達しつゝありと云ふ

●一月中の鐵道收入 一月中の朝鮮鐵道收入は京釜線二十八萬一千九百五十七圓、京義線十四萬五十七圓、湖南線一萬三千三百七十四圓、京元線二千五十二圓、合計四十三萬七千四百四十圓にして昨年に比すれば五萬四百八十六圓の增加なりし一月廿一日より卅一日に至る十日間の全線收入は十六萬二百七十一圓にして前年の同期に比し二萬六千六百九十六圓の增加なりと

●江景群山線開通 江景群山線は豫て工事を取急ぎつゝありし湖南線の內江景群山間三十一哩の鐵道運輸を來る三月六日より開始する事に決定したるが其の哩程を記せば左の如し

一江景咸悅間	七哩
一咸悅黃登間	五哩八分
一黃登地境間	八哩一分
一地境群山間	六哩二分

●各院長會議 各院長檢事長會議開かる既記の如く倉富司法部長官には六日より約一週間の豫定を以て渡邊高等法院長國分高等法院檢事長並に城京城控訴院長中村同檢事長永島平壤控訴院長向井同檢事長土井大邱控訴院長黑川同檢事長を司法部に召集し院長檢事長會議を開催すべく議事の內容は例年の通り單に司法事務打合せに過ぎずと云ふ

●儒生の紀元節奉祝 朝鮮十二道儒生總代朱鐘珠は天皇陛下に來る十一日の紀元節奉祝文を奉呈すると同時に西園寺首相、寺內總督、渡邊宮相、山縣政務總監に對し奉祝文を總督府に贈り來れりと云ふ

●政務總監着京 東上の途に在りし山縣政務總監の一行は四日午後二時東京着の旨通報ありたり

●奧村武官着京 朝鮮駐劄軍慰問使奧村侍從武官は既記の如く五日午後八時三十分南大門驛着入京六日寺內總督上田軍司令官、明石司令官を訪問さるべし

●京城府の徵稅成績 京畿道管內に於て四十四年度第二期徵稅成績の最も不良なりとの噂ありたる京城府徵稅課にては其後管內の最も納稅不完全なる部面に吏員を派し徵稅督勵に從事せしめたる爲め二月二日現計に於ては其の崇信面の如き納稅割合家屋稅九割五分七厘酒稅七割五分驛屯土完納、東部は家屋稅九割九分酒稅七割四分五厘驛屯土完納、仁昌面は家屋稅九割酒稅六割三分、龍山面は家屋稅七割酒稅五割三分の好成績に達し全管內を通じての納稅步合は家屋稅七割酒稅五割三分に達し漸次成績良好に向ひつゝありと

●裁判所長不召集 司法部は例年二月若くは三月初旬に別項揭載の院長檢事長と同時に地方裁判所長及同檢事正を召集し司法官會議を開き居たるも本年は都合により地方裁判所々長檢事正を召集せず控訴院長檢事長の召集に過ぎずと

●仁川港の海戰紀念日 來る九日は日露戰役第一の捷利を得し仁川港內海戰の紀念日なるを以て當日仁川に於ては久水府尹岩崎民長民會商議兩議長等發起にて正午十二時より仁川ホテルにて紀念祝賀會を開催し會費は一圓五十錢なりと因に仁川民團にては九日終夜埠頭に大篝火を炬き當時の感想を偲ばしむといふ

●週間の手形交換數 京城手形交換所に於ける一月廿九日より二月三日まで一週間の手形交換高は枚數三千四百四十四枚金額百〇四萬六千三百七十八圓六十三錢にして一日平均交換高は枚數六百八十一枚金額二十萬九千二百七十五圓七十三錢なりと

●日韓瓦斯總會期 日韓瓦斯電氣株式會社にては來る十六日頃岡崎專務取締役上京の後來る三月十日頃東京に於て今期株主總會を開催すべしと

●民團委員會開會 去る二日の京城民會に於て隣接空地買收に就き議員中右買收を妨害せしものありとの世說に對する件は當日委員附托となりしが之れが委員會は五日午後四時民團樓上に於て開會されたり

●明治鑛業の出願地 明治鑛業會社にて平安北道に於ける金鑛の採掘許可を其の筋に願ひ出でしことは既報の如くなるが右個所は昌城郡の二個所にて大体の調査は既に完了したりと

●會議所役員會開會 京城日本人商業會議所役員會は六日午後一時より開會の筈なるが議案は既報日鮮人間商取引の件、官營事業に對する民業關係の件、南大門驛を通過驛となすの件及び京城府廳よりの照會に係る京城に於ける實業家の功勞者調査の件等なり

●日韓瓦斯業成績 明治四十四年七月より今年一月迄に至る日韓瓦斯電氣株式會社當半期間の營業成績は同半期に於ては電燈料金の値下げ實車線路の延長に依り電燈料電車料金の增收あり加ふるに瓦斯料金も多少の增收を致したるに加へ一方會社にては專ら諸給支諸出費の支出を可及的節約したるを以て利益十四萬圓餘年八分配當の見込にて之れを前年同期の利益金十二萬餘圓配當七分五厘に比し好成績を示し居ると云へり

●東拓の第二回移民分布 東洋拓殖會社第二回移民分布の狀況を聞くに京畿道廣州郡戶數十七戶人員六十六名京城府十八戶九十一名楊州郡二戶九名水原郡四十七戶二百三十四名龍仁郡五戶二十八名開城郡十七戶九十名慶北大邱府二十四戶百二十八名慶山郡十四戶八十七名永川郡二十七戶百二十七名慶州郡八戶三十八名淸道郡二戶六名玄風郡十五戶三十九名慶南河東郡三十二戶百四十八名固城郡十戶六十三名泗川郡三十四戶百三十九名馬山府十五戶六十二名金海郡六十一戶二百二十五名全南羅州郡五十戶二百十戶全北金堤郡三十二戶百四十二名井邑郡一戶二名龍安郡三戶十四名益山郡十戶四十五名砂山郡八戶二十七名忠南舒川郡十戶四十七名石城郡八戶三十一名魯城郡三十二戶百十九名恩津郡三戶二十一名扶餘郡六戶二十七名連山郡二戶八名黃海道鳳山郡十戶四十三名にして合計五百十三戶二千三百十六名なりと

●郵便貯金局待拂利用 郵便貯金事務當局者の語る所によれば郵便貯金局待拂戾と云ふ至極便利にして迅速なる方法あるにも拘はらず是れを利用する者の少なきは全く一般の人々が知らざるに基くものならむか今其方法の概略を述べんに

▲局待拂取扱局 郵便貯金局待拂戾を取扱ふは朝鮮にては唯京城の光化門郵便局あるのみにして同局にては貯金局待拂戾の請求あれば直に其取扱ひをなし郵便爲替貯金管理所へ手續を爲す

▲三十分の待合せ 貯金局待拂戾を爲してより拂戾を得るまで約三十分時間を光化門郵便局に待合せば一部拂戾及び全部拂戾は其元利共悉皆拂戾を受くることを得るなり

▲預入局を論せず 朝鮮所在の郵便官署に於て交付せし通帳なれば光化門郵便局に於て局待拂を請求することを得るに付內地臺灣關東州及び樺太等の通帳を所持して其管區替への手續きを爲すにあらざれば局待拂の請求は出來ざるにより斯る通帳を所持する人は速かに管區替の請求をなし置く事必要也

▲局待拂の利益 現在高證明ある通帳若しくは預拂同一なる局所にては即時拂を爲し得るも其場合は五十圓以內といふ金額の制限に據らざるべからず局待拂に於ては金額の制限は勿論全部拂戾に對しては利子まで受取り得るが爲め旅行中の人とか內地へ歸還する際し急に金の入用とか日限ある場合の如きは局待拂戾を利用するこそ最も便利なりとす云々

●府尹郡守會議 既報の如く十二日より五日間京畿道廳に於て府尹郡守會議を開くべしと

●日鮮間電信故障 日鮮間電線は五日朝來又々故障を生じ京城大阪線も障害の爲め只僅に一線を餘しをるのみなれば自然兩地間電信は大遲延を免れざるべし尤も同夜中には故障回復の見込なりと

●中山騎兵大佐の出發 元總督府武官中山大佐は五日午前南大門發列車にて出發せり

●兩檢事の任命期 高等法院檢事並に海州地方裁判所檢事正の後任は今回の院檢長會議に於て人選の上新任すべし

●臨時檢事正事務取扱 海州地方裁判所檢事正青木氏は去る三日卒去したるに付今回同裁判所次席檢事なる野丘隣太郎氏臨時代理を命せられたり

●院長檢事長と宿所 院長檢事長會議に列席の爲め此程入京したる永島平壤控訴院長外三名は天眞樓に投宿したり

●明石警務總長の檢閱 明石警務總長は六日午前十時中野亥角兩警務官を隨へ昌德宮警察署を檢閱さるゝ筈

●鮮銀三島理事の皈程 鮮銀三島理事は七日皈任の筈なるが同理事の皈任を待ちて市原總裁は島雄秘書を從へ八九日頃東上來る二十日の總會に出席すべく尙木村理事も前後して東上すべしと

●具警務官の出張 警務官具然壽氏は六日朝出發京釜鐵道沿線各警察署及釜山警察署の事務視察の爲往復二週間の豫定にて出張の筈なり

●朝鮮及滿洲二月號 主張欄に於ける旭邦子の『支那革命と滿洲經營』及び『時事小言』流石に經世家の一讀を忽にすべからざるもの論說欄の『主として經濟上より觀たる朝鮮と滿洲』白眉『臺灣保甲條例』渡邊高等法院長『朝鮮開發の最善策』淺野三井物産出張所長『朝鮮米穀移出入稅撤廢と朝鮮の經濟界』久能撰鋼農銀支配人等何れも實業家の實驗上よりしたる論議にして大に聽くべきものあるを思ふ其他訪問、談叢、雜纂、文藝の各欄亦見るべく聞くべきもの尠なからず殊に名士と青年欄に於ける明石、沼田、淺野諸氏の回想的敎訓談の如き趣味と教訓に滿つる青年好箇の座右銘たるを信ず(旭町朝鮮雜誌社一部金二十五錢日韓書房にて發賣す)

●京城三田會の開催 京城三田會にては三日午後六時より旭町白水に於て福澤先生追悼紀念を兼ね春期例會を開き會衆三十餘名席上朴男爵及三本鐵道局參事、石田視學官三氏を名譽幹事に推して尙專務幹事八名を(日鮮四名づゝ)を撰擧し各歡を盡し午後十時散會せり

●普成專門學校卒業式 既報の如く普成專門學校にては三日午後一時より第五回卒業證書授與式を擧行したるが卒業生は鄭承煥外三十五名にして式後渡邊高等法院長、檜垣道長官等の訓示演說ありたりと

●山縣人會の開催 在京龍の富山縣人は今回本間富山縣事務官及橫山隆通氏の來京を機とし七日朝鮮樓に於て歡迎會を兼ねて新年宴會を開く

●朝鮮銀行券發行高週報 朝鮮銀行一月二十八日より二月三日に至る銀行券發行高左の如し

總發行平均高	二三、一八七、一七三
內正貨準備平均高	八、一八四、一三三
保證準備平均高	一五、〇〇三、〇四〇

公人私人

▲永島巖(平壤控訴院長) 四日入京天眞樓
▲向井巖(平壤控訴院檢事長) 同
▲土井庸太郎(大邱控訴院長) 同
▲黑川穰(同檢事長) 同
▲米山久彌(江景東拓出張所長) 三日出發江原
▲杉山彝(憲兵大尉) 同平壤
▲原田鐵策(鎭南浦民長) 四日鎭南浦

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
二月五日	一六四、七三四、六一〇	五五七

▲茶袋▼

寺內總督の病氣に付ては、當地では至極輕症だと傳へられてをるが、內地から來た新聞によつて見ると、熱度高く病名もパラ窒扶斯とかで、中々大切な病氣で、其ため時事に關する件は一切總督の耳に入れず專ら看護に盡してをると書いてある▲果して其通であらば其こそ一大事、燈臺下暗しの譬に洩れず、吾輩余りとして迂闊であつた、寺內夫人の來京といひ彼是やを思ひ合すれば總督の病氣も輕症として安心すべきものではないらしい▲我輩は總督の病氣の一日も早く平癒せんことを希ふの餘り、此際氣候不順なる鮮土にて加療せらるゝよりも、山紫水明なる內地に於て靜養せらるゝが、總督のお身の爲なりとして勸めする▲曾禰第二世統監の如き最初病に罹られた當時他より內地靜養を勸めしに拘はらず此地で忍耐せられたから終に取り返しの付かぬ重症に陷られたのである▲京城府廳から京城商議に向けて內地人實業家にして夙くより鮮土に來てをる者の調査方を托して來たそーな思ふに豫て我輩が主張してをる、拓殖の先驅者たる功勞者表彰の下準備ではあるまいか。

●藝妓衆のお芝居

雛良狹衣

京城券番主催で藝妓衆がお芝居を壽座で成さると云ふ、夫に以前女優であつた御道樂の女將が舞臺の踏み納めとあつて大きい所を見せると云ふ見ずんばある可らずと一家の同勢を驅り催してノシ〱ツイ〱と繰込んだ

時は四日の午後六時　遲かりし序幕の壽式三番は芽出度幕で二幕目の**太功記**、十段目の幕が引かれた斗りの所だ、雛子の初菊巧いもの小奴の重次郎は手負ひに成つてから見直した京のさつき此は又手負に成つてからが不出來、靖子のみさを動かざること山の如し、梅奴の光秀貫目に不足はあれど出來は上初舞臺だなんて嘘だらう、一奴の久吉奇麗々々一龍、鶴羽の加藤、福島許なし、三幕目十二時會稽曾我**敷皮の場**、勝次の梶原景高損な役をアレまでに眞面目に演つて退けたる殊勝な心根從つて出來も上々、福助の五郎丸大に佳、仇吉の仁田四郎は普通の出來、榮次の梶原景時御若勞樣、かずの五郎大きかつたぞよ上出來だつたぞよ『此敷皮を見るにつけ』の述懷から犬坊丸への述懷總じて見堪ねありき此妓も只の鼠ぢやない猫でなし、文之助の頼朝貫目も充分に五郎との問答にも重味あり、但し餘りの若作りに八幡太郎とか義經とか云つた方に近かつた夫れに引かへ五郎は滅法界な老け方、又イ後見五郎は彼の時裝束だつたと思つて居るのだアノコ、ナ不心得者奴がどんぼの犬坊惡戲者の本性を猛烈に發揮して出來は上々、市松、小福、榮次等の並び大名、オヤ御苦勞千萬で御座たぞ、四幕目**六助住家の場**、吉彌の微塵彈正相手の六助が大きいので何分小さいを通り越してコマカク見へたは笑止千萬、京のお園美事な風姿に先づ溜飲を下げさせた、押掛女房振りもよく娘振りもよし、文之助のお幸、老けた作へも佳く臺詞にも難なし上出來、鈴道樂の六助流石は流石と只モウ感服な致した、とんぼの杣斧右衛門輕妙驚き入るの外なし、切**野崎村**、伊達子の久作實は如何あるべきかと內心案じて居たのが恥かしい程の上出來靖子の下女たよし大に佳く、小奴の久松は不出來、靜江のお染は美しく、峯松のお光、いぢらしな誠に結構な內儀振り、前で結んだ帶が何とやら云ふ手套の如に見へた、吉彌のおみつ紙類誠法飛切りの上出來、お世辭氣一切拔きにして馬鹿にして居た藝妓芝居もお心と云ふ力に依つて何うして〱通じて上々の出來、當夜の缺點二三を上げて一つ**不心得な後見とか振付けさ**か云ふ奴を叱つてこまさうなら先づ五郎の敷皮に虎の皮とは何たる事かア〱最見では終には竹の皮を敷くやも知れず、六助住家の場で文の助のお幸が六助に引出物とする大小、拵へが別々で研屋の店から盜んで來た如し、次に間々後見面を振り回して妙な處へ出娑婆り立てるのみか大巫山戲に巫山戲て藝妓や客を愚弄する例せば野崎での**駕籠夫及び船頭の如き醜態百出、田舍役者の無作法振り**、細さん達決して眞似なぞと不了見を出す可らず

●田中守平の行衛

△世界中彼方から此方から

新冬來當地明治町二丁目十號邸に東亞靈理學會京城支部なんて云ふ白痴威嚇の看板を揭げ靈子作用と命名たる怪しげな催眠術擬きの事を爲し難病平癒就中癩病は直に治ると世に絕望なる癩病患者を釣り寄せ初回二圓次回よりは一圓宛の施術料を貪りつゝありし田中守平、本紙が舊臘中前後三回に亘りて其不法と危險とを詳述し一日も京城の地に置く代物ならずと斷定したることは讀者諸君の知らるゝ如くなるが好運兒田中守平は之れが爲め却つて總督府御用紙京城日報子の同情の下に誇大なる廣告を爲て貰ひ公々然と萬病平癒癩病治療に愚夫愚婦の懷中を絞つて美味へ酒を飮まうと企てたるも邪は正に克たず爾來は以前の五分の一も來なくなつたれど弱身を見せては叶ふまじと昨臘二十七日附を以て記者に宛て下の如く申越したり

記者足下

頃來三日間に亙る小生に關する御紙の記事極めて痛快の事に存入り當方より中止を申込みたる樣御記載あるもむしろ却て續々御揭載の程希望致候場合によりては當方より材料差上ぐるもよろしく又た貴方に於て隨意作造さるゝも差支無之候平岩氏は小生舊來の知巳として單に好意的に貴社を訪問されたるのみ小生より特に依賴したる次第には無之候平素排擊的記事を以て鳴る御紙の筆勢によりて麗々しく小生の事柄を揭載され爲めに京城人士に一興を與ふるの機會に遭遇し得たるは誠に光榮至極に存候茲に貴社の勢を多とし謹んで敬意を表し申上候　敬具

十二月廿七日　田中　守平

京城新報記者足下

剃りこかす若衆の揉めや年の暮

さ一寸見れば強がりなれど實は一種の悲鳴なり哀訴なり、殺さば殺せと怒鳴るは強い者に非ず不敵からの不貞腐れなり此書面の如き即ち夫れなり記者は其當時に於て更らに痛擊を其頭上に加へんと思ひたりしも抵抗せずして大の字形に寢轉び敵はないから座うでも爲て呉れと身体を其所へ投げ出した者をヨシ來たと撲るでもないと許して置くこと今日に至る約四十日、其間壽座に長髪を揮つて人氣の回收に努めたるも終に不良ものは不良と極つて門前ガタつかす米櫃ガタつかんとするに居堪らず今月今日下の如くにして京城を去れり、彼が御新禧を禀つた善男善女內に顧みて名殘惜しいか否や

拜啓

益々御淸穆奉賀候陳者小生今回靈子作用の世界的主張を圖り併せて歐米學界の批評を求めんが爲め世界一週旅行を計畫致し動亂中の支那を瞥見し南洋諸島を一巡し安南暹羅印度中央亞細亞を經て歐羅巴に渡り米國に航し行程約三ヶ年にして日本に歸來するの豫定を以て本月五日此地出發の都合に有之就ては一々參趨可仕筈の處匆卒多忙の際乍略儀葉書を以て茲に告別の意を表し申候旅行中時々御通信可申上候條何卒永久の御交際奉希望候終りに臨み貴下の御健康を祈入候　敬具

明治四十五年二月五日

京城明治町二丁目十號邸　田中守平

●威勢の好い香梅

▽相手代つて主變らず

去月三十一日夜のことなり新町遊廓日曜樓に登樓した黄金町の杉本三吉と呼ぶ男何時もの如く敵娼立花をとの御意なりしも生憎く立花は入院中なりしかば香梅といふが代つて枕席に侍べりしもイザといふ場合になつてから何が氣に喰はなくてか喧嘩をはじめ互に皿小鉢を投げ散らし、ヤア〱でヤット納まつた時には客は頭部に香梅は眼の邊に微傷を負ひたるが兎にも角にも一夜は明けた翌晩のこと香梅は頭痛がすると一時ばかり面洒らして自宅に引つ込み仲居のたなかを呼び寄せ昨夜の客のことより口論の果て女だてらに掴み合ひをはじめ毆ぐつたり蹴つたり各自に痛い思ひをして其の筋のお裁判まで願つたが双方大目玉を頂戴して引き下つたりと

●更に其非行を改す

▽京城郵便局內の人鬼

京城郵便局電話交換局 取締 縄田ヒサ(四三)が此細のことより交換手を虐げするとのことは去月三十日紙として掲げ置きたるが確聞する處に依れば其の數日前森本マスエ(十六)と事ふが何か失策あり又散々罵倒されたる上打擲されしより開城に逃げ歸りたれば追がの縄田も吃驚し同じ取締の某に賴んで詫狀を送り甘言を以て呼び寄せたるが時恰も京城郵便局內の人鬼と題する記事の掲げられたる折なれば必定森本の投書と思ひ込み又もや散々毆ぐり飛ばしたるより森本も遂に辭職願ひを差し出だし今尚ゴタ〱中なるが三十一日縄田は掛長に呼び寄せられ事實を訊されたる時には言を左右に托して甘く謂ひ瞞め其の場は事濟みとなりたるも爾來交換手間に取締排斥の聲高く缺勤者辭職者續出するより見習生を募集し辛ふじて缺員を補充し居れりと

●氷滑場式開場雜觀

滅切春めいた四日の午後から開場式擧行すべしと云ふ氷滑場を見に行つたホカ〱と見物するには結構な日だニコ〱して居るのは見物人で僅かに四分の一、三百坪程の所が申譯けの爲めにスケーつて居る其處も三十人程が盛ンにチンタつたものだから氷が削れてザクザクに成つたので競走になつてからはモウ滑走ぢやなくつて駆け競になつて終つた、非常な見物人だ內心否を吐いて喜んだのは電車會社だらう兎に角昨今位の陽氣ぢや實際スケーら㐅のだアーアッ硝子張りにして置いたらなア、何さかの智恵は勘定者と同樣跡から出るものでげす（生）

●布百七疋を詐欺

▽賣飛ばして借金拂

西部仁達坊弼雲臺後洞七十二統八戶居間業金鎭鉴(五四)は去月二十七日午後二時頃南部盤石坊小里門洞客主業金允執方に赴き平素より出入して取引上信用あるを奇貨とし生苧布百七疋代價三百七十四圓五十錢を賣却し遣らんと欺きて持ち出し是れを中部外想洞布木商田孝根方に持ち込み入質を依賴しマンマと二百圓を手に入れ田に對する負債百八十二圓を返濟し殘餘を費消したること發覺し三日自宅より引致され取調べの上五日檢事局に送らる

●朴泳侯邸で賭博

▽不取締の事かな

中部貞善坊泥洞居金在皐(三八)同洞居金仁善(二四)同坊廳洞居李明洙(二九)の三名は四日午后四時頃中部校洞二十五統十一戶朴泳孝氏方廊下に於て賭博最中北部署の警官に逮捕せられたるが五日各笞三十に處せらる

●節分のお化

四日は節分なりし事とて花柳界は吉例のお化にて大に賑ひたる中に翡翠の樓主夫婦の韓裝したるは面白しと見たり▲仁川も同樣賑ひたるが八坂樓のお化け最も振ひたりと云ふ

●鮮人强盜就縛　南部笠井洞四十一統十一戶金召史方柳春日(二四)南部田間洞七十八統三戶趙致五方崔昌燮の兩人は昨年十二月四日北部補洞二十五統九戶孫召史方に短刀を持つて侵入し金巾外金銀類數點價格二十七圓四十錢を强奪し逃走行衛を晦ましゐたるが惡運盡きて一日夜田間洞通りにて東大門分署の手に捕へられたるが餘罪ある見込みにて取調中

●サザイが八　とは又妙な計算かな三日午後七時頃舊龍山元町四丁目十三番戶飮食店姫野ユリ方の不在を窺ひ住所不定の鮮人金采集(十八)が忍び入り店頭に陳列し置きたるサザイ煮物八個ウドン五ッ天婦羅二を喰ひ逃走せんとする所を近所の者に見付けられ龍山署へ引き出され即決言渡し笞三十に處せらるなりと

●時計を盜んで　京畿道廣州郡々內面東部金完杜の伜金德元(二〇)は去月二十六日東部二橋廣橋市場牛馬旅舍金順一方にて同宿者千順泰の白銅側懷中時計一個を窃取入質し費消したること發覺し三日東大門分署に引致され五日檢事局送り

●賭博常習犯人就縛　原籍長崎縣生れ當時仁川府內面居住田崎和吉(三三)原籍廣島縣生れ當時京城若草町一丁目四十番地居住伊藤定吉(四三)の兩名は去三日午後三時頃田崎方にて賭博中取押へられたるが悉く賭博常習前科犯人として四日檢事局へ送らる

●豆三粒を材料に　四日京龍間を徘徊して鼠色封筒に惡魔拂ひと大書し下に鬼は外福は內と書きたる中に大豆三粒を入れたるを戶毎に投げ込み後より豆代を强請したる住所不定の北村市松と云ふは四日本町一丁目にて現場を引つ捕へられ南部署にて取調中

●賭博犯人の笞刑　三日午後十時半頃東部仁昌面伏車橋四統十戶金漢楨(三五)仁昌面往十里洗所幌居崔錫漢(二五)下大井洞李應五(三二)の三名は賭博犯にて捕へられ四日笞三十に處せらる

●放尿　仁川仲町一丁目大和組內仲仕大分縣生中西一郎(二八)は四日午後〇時二十分宮町派出所橫手街路に放尿し告發せらる

●虛僞の申告者　仁川府多所面居住淸國人宗長元(二六)が元雇人たりし趙を强盜なりとて仁川署に虛僞の訴を爲したる事件は四日科料金五圓に處せらる

●溫突に鼠穴　三日午後十一時頃龍山祝町百七十五番戶靑坡製紙會社員蜂某方溫突床鼠穴より燃へ立ちたるが直ちに消し止む損害價格は約七十圓なりと

●拾得　仁川龍洞金有奉は四日午前五時頃仲町一富士前道路にて金製襟止一個拾得し屆出づ

●演藝だより

▲浪花館●　圓若一座の落語音曲手踊り

▲歌舞伎座●　浪花節芝居六日の代狂言前『辨慶新五郎の續き』にて切は『神崎與五郞』なりと、因に六日當地打上げ七日より仁川歌舞伎座に乘込むべしと

▲壽座　藝妓芝居二日目(五日)狂言序『玉藻前』一番目『忠臣藏一力の場』二番目『阿波の鳴戶どんどろ大師の場』切『扇屋熊谷五條橋の場迄』にて六日は『先陣館』『寺子屋』『中將姬雪責』『菊畑』なりと

●思慮もねえ

△〇生

◎ア、ラ芽出度いな芽出度いな杯と申さんには、厄拂ひか或は又た御維新前の江戸正月の名物なりとか聞く、勸進舞の一種大黑舞の常套語『見さいな見さいな』に、其の語調の酷似るより、什うやら下卑ても御座らうが、眞箇、縱橫何れより見てからが芽出たき限りを蒞したは、京城今春の興行界で御座つたてや。

◎『猫化犬慝仇討』の舊劇一派一方に大看板を揭ぐるかと見れば、他方には開くさへ襟を正さしむる宗教劇教育家庭教訓資料と銘を添へた何々團の新派劇あり、又つた、片隅には鈴錆の元祖だとか稱ふる圓若と云ふお爺さんが初春興行の蓋を開けて調高の聲を振り絞る。

◎そも、鈴錆の濫觴はと、勿体らしく開き直つて、乘合舟の白酒賣を氣取る必要もあるまい、其の唄が何時何時代に初つて、所謂圓若師の年齡が其の時代に達し得るや否やを說き出すだけが野暮の骨頂だらう、勸善懲惡即新演劇と劇道に方程式でも出來ざる限り、宗敎劇の何々團も此と怪しう御座るし、猫が化けて絞の浴衣で踊つたにしてからが、犬がノシ出て仇を討つも、這れ亦多少、あたじけなさの限り、ハアテ何れを觀ても山家育ちは申さぬこと、イヤ目出度いことで御座る。

◎目出度しとは申せ京城は朝鮮の首都で御座る、今日では田村屋の浴衣でなければ身に着けられぬの小楊子はさる屋のに限りますのと、態々取り寄せ贅を仰しやる方々も大分京城には見受くるでの、所ろ青山百人町でも唸りさうな色黑の大年増の手踊や鳴らす調子もチクバハな三味線で常盤津か淸元か鳥渡聽分がたい淸元を聞かうされた鳥目を出す慈善者も餘り多くも御座らねば妙な手付で胡魔化したつて落を冒頭に取り違へて結末で詰つて支離滅裂になる大師匠を聞かうと所望遊ばす好事者も少なからうぜ、ナニ夫れはウスだらうて、だから、兎角は頭腦を燒き直すことだよ。

◎況して言はんや、此等に比し、其の道の見巧者の多いと定つた芝居道に、宗敎劇の猫化けのと、吼へ立てたにしてからが、オイ結構だ聽せ登ずる珍食家も在るまいぢや、畢竟は玆が思案の定めどころ、餘りお目出たがると、飛んでもない、夫れ目出度は不吉の端緒禍は禍の基と唐の聖人も仰しやつてなや、エ・つがもねい。

諸公債株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候
兼業 既製洋服卸小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目
大坂野村德七代理店
田中友吉商店 電話九九三 電略(タ)

月經をつうじ子宮病を全治す
月經不順 病を根治し、血のめぐりを能くす
二十世紀の新藥 最良新藥
每月丸
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八 十六番

學目藥(めぐすり)
大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基き最も貴重の製劑にして●流行目●トラホーム●星目●のぼせ目●かすみ目●血目●疲目其他眼病一切に可驚奇効あり
●かれこれと迷ふこと勿れ完全無缺の大學目藥あり
發行所 大坂市北濱一丁目 參天堂藥房

かぜねつの最良藥 大阪田邊の ヘブリン丸
元祖 ヘブリン丸
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八 十六番

◎一月十二日左記の處に移轉仕候
▲貸金 俸給者には無擔保にて精々便宜に融通申上候
京城旭町一府廳裏一丁目より二丁目に拔る路小路 電話一四三番 高橋

資本金 壹千萬圓 積立金 六百貳拾萬圓 明治六年設立
株式會社第一銀行京城支店
京城南山町三丁目 電話 一一番 六一一番 振替貯金口座京城一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

京城明治町二丁目(森、村質店隣)
榊齒術所
電話(六六九番)へ

效能ある溫泉
鐵冷溫泉
旅館並に浴客席貸
京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行北横手)
廣安喜次郎 電話一四一一番

當店發賣の洋酒洋食品は絶對に品質保證致候
宮內省御用達 株式會社明治屋京城支店 電話一二七二 二三番
御用の品は遠近多少に不拘即時御配達致候

高峰博士發見の本劑は効力顯著なる爲め類似品あり注意
タカヂアスターゼ
北里博士指導佐的矩氏創製の本品は衰弱者肺病其他慢性諸症に卓効ある滋養新劑なり
グリコナール錠
說明書郵呈
朝鮮總代理店 仁川本町 仁和洋行 竹田津三平
東京市日本橋區室町三丁目 三共合資會社

新荷着
厚物 薄物 鐵板 各種
浪板 平板 各種 亘用線
和洋金物商 京城本町二丁目
佐野彥藏商店 電話一六三番 振替口座京城一二〇番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
朝鮮銀行
電話 參參壹番 壹貳六〇番 壹貳六壹番 六壹貳番
支店出張所(大坂、仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、新義州、安東縣)右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

最上醬油
髙
釀造元 仁川港萬石町 高杉醬油釀造場 電話七六五番

英國セフヒールド市 シーボームアンドディキスタル製鋼會社特約品
鑛山用 地球鷲印八角鋼
道具用 同 角磨鋼
職工用 同 鑢各種
右は朝鮮一手販賣罷在候處清鮮地の材料器具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦內地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候
京城本町五丁目 和洋金物商 釘本藤次郎本店
(電話四五番)電信略號「ク」振替貯金口座京城二五六番

株式會社十八銀行支店
京城黃金町(銅峴) 電話四二〇番五八〇番
銀行一般の業務精々御便利に取扱申候
○本店 長崎市
○日本朝鮮の各樞要地並に露領浦鹽、清國安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候
○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候
◉貯蓄預金
○元金百圓に付日歩一錢二厘
○一口一錢以上何程にても御預り申候
貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候

優等清酒
釀造販賣元 仁川港 吉金酒店 (電話七六四番)

大募集
二十世紀新美術的職業にして都市避地を問はず男女老幼共容易に自宅に於て從事し得らる日收一圓內外本品は輸出內地共販路擴大故に年中無休製品は永年買入約す●明細書見本は甲種廿五錢乙種八錢郵券送れ
大阪北區梅田驛前(金龍館向) 振替口座大阪一四三九六番
高橋商店 直輸部

政宗 正則 清正 釀造元
酒 小賣壹升に付三十五錢 卸賣は特別割引可仕候
清酒 味淋 燒酎 釀造元 京城壽町三丁目 中井酒造場販賣部
並に日用食料品雜貨類
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候 電話百七十七番

東宮殿下御料牛乳 京城萬國博覽會一等賞金牌
洋種乳牛及朝鮮牛賣買
牛皮牛骨の賣買
入院隨意 京城家畜病院
種豚山羊家禽種卵賣買
多木肥料販賣代理店
京城古市町九番戸
朝鮮畜產株式會社 電話八八番

誠ハ弊店ノ主義也
釀造元 仁川山根町二丁目 深見勝三郎 電話二四八番 電信略號(フ)

物理化學機械 模型標本類 體操及運動具 敎具校具一式 測量製圖機械 水彩及油繪用品一式 和洋紙帳簿一切 歐米文房具
●新案韓語栞發賣所● ●國語指南●
朝鮮京城本町三丁目 平田商店 敎育品部 用達部
電話一一五番 電信略號(ヒ又はヒラタ) 振替口座京城四六八番

●母國よりも安い●
携帶電燈 大一圓二十錢 中壹圓 小七十錢
懷中電燈 大九拾錢 小七拾錢
地方には即時小包發送
各種時計 眼鏡一式 貴金屬品 電燈各種
販賣 京城本町一丁目郵便局前 金化堂時計舖 電話三一八番
●大々的の勉强●

世界無比 淳良 清酒 金露
○堺大塚の金露醇酒は今回改良に付て灘釀造酒のみを用ゆる事にせられたり
○大塚釀造場の金露酒は衛生に經濟に嗜好に於ける一大良品なり
○京城に於ける金露特約販賣店の元祖は佐藤牧商店なり
○大多數を占めたるは佐藤牧商店の結果需要高大
○地方御得意樣には中味改良の驗として大御引廉價を以て御注文に應じ可申候
特約大販賣 京城本町一丁目 佐藤牧商店 電話二九番 振替京城二九番

★株式會社百三十銀行京城支店 電話百九十四番 五十八番 振替貯金朝鮮一一三番
資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿內 大阪、神戶、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影
東海道 東京、横濱、大磯、靜岡、甲府、津、岡崎、濱松、半田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉、龜山
東山道 彥根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、伊勢崎、長野、高崎、前橋、若松、福島、秋田、能代、土崎、青森、仙臺、北方、加納
北陸道 金澤、小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、宮津、高岡、舞鶴、新舞鶴、伏木、新潟
山陰道 米子、境、松江、久手、太田、倉吉、鳥取
山陽道 岡山、姬路、龍野、網干、岩見、西大寺、倉敷、味野、牛窓、玉島、笠岡、鞆、三原、高梁、尾の道、福山、府中、廣島、吳、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、萩、長府、小月、下之關、明石、津山、阿知須
南海道 和歌山、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、阪出、豐濱、川之石、今治、西條、松山、吉田、洲本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養
西海道 郡中、門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎、八幡、小倉、中津、行橋
北海道 神崎、小樽、函館、札幌、旭川
臺灣 臺北、臺南
樺太 太泊
朝鮮 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、晋州、馬山、大邱、羅南、新義州、城津、開城、大田、金泉、公州、水原、全州、清州
清國 安東縣、大連、營口、奉天、旅順
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

食ひすぎ飲みすぎに
ピットル散
本舖 大阪市江戶堀 猪飼史郎 各藥店ニアリ
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八 十六番

恩給 年金 低利長期契約即時立替手數料一割
今般右營業開始仕候 大門外神戶屋ノ南
全部繼承致迅速且懇切ニ取扱可申候
京城櫻井町八八 山口屋

キ
二月中 汽船出帆廣告
三省丸 蔚島行 二月八日前九時
成草丸 海州行 二月九日前六時
天歎丸 屯串行 二月 日前 時
海利丸 海州行 二月 日前 時
三省丸 大湖芝行 二月 日前 時
荷客取扱所
合資會社 秋田商會船舶部 仁川本町四丁目 電話一三番
仁川本町一丁目 電話七五〇番
仁川本町海岸通 秋田商會船舶部荷捌部 電話四一九番
仁川本町四丁目 柴田回漕店 電話五二二番
仁川本町 山本回漕店